

シャッターを切る前に!

ワンステップアップのデジカメ撮影術

いよいよ携帯電話のデジカメも1000万画素の時代に入ってきました。今やデジタルカメラも一家に一台、ひとりに1台の時代です。一眼レフデジカメも入門機であればかなり価格も下がってきましたので、コンパクトデジカメから一眼レフへ、ステップアップをお考えの方もいるのではないのでしょうか？ でも撮影のコツやテクニックを身に着ければ、今のデジカメでもまだまだ素敵な写真が撮影できますよ。

失敗しない撮影の掟

今のカメラはAUTOモードで撮影すれば、シャッターを切るだけで失敗の少ない写真撮影ができます。でも、「味のある写真」「感動のある写真」を撮影するために**ワンステップ、アップ**してみませんか？ チョットと気をつけるだけで、今までとは違った印象の写真ができあがりますよ。

■室内(チョットと暗い場所)でのパーティー撮影

ストロボを使うと、人の顔が**不自然に白くなったり、陰が**できたりして、記録写真としてはOKでも、**パーティーの雰囲気**をうまく伝える事が**できません。そんな時はもう1枚**。ストロボは使わず、**ISO感度をあげて、絞りを開いて撮影しておきましょう**。ISO感度を上げると、少しの光でも撮影することができます。また絞りは開いてたくさん光を取り込みます。暗い場所ではシャッター速度は遅くなりますので、**ブレ**には注意しましょう。

■街中を歩きながらのスナップ撮影

ピンボケを防ぐにはなるべく**ワイド(広角)**で撮りましょう。望遠を使うとほんのチョットとブレも大きなブレになってしまいます。また、絞り値を調整できる機種ならなるべく絞って(**絞り値はF8以上**)撮影しましょう。絞りを絞ると、ピントの合う範囲(前後の距離)が広くなるため、全体にピントが合ったようなシャープな印象の写真が撮影できます。

下の撮影モードを参考に素敵な写真を撮ってください。

そろそろAUTOモードを卒業しませんか？

一眼レフデジカメも含め、カメラには「**撮影モード**」を選べるものがたくさんあります。この撮影モードを駆使すれば、プロも驚くほどの写真が撮影できるかも知れません。撮影モードの選択には大きく分けて、「ダイヤル式」と「メニュー式」の2つがあります。ダイヤル式はダイヤルを回して撮影モードを切り替えます。メニュー式は、液晶画面に撮影モードを呼び出して決定します。スタイリッシュなコンパクトデジカメの場合はメニュー式が一般的です。



オートモード(自動撮影)

カメラが自動的にほとんどの設定をしてくれるモードです。便利な反面、意図した写真を撮りにくいモードでもあります。カメラに慣れてきたら別のモードを使ってみましょう。



ポートレートモード(人物撮影)

人物の撮影に向けたモードです。**背景をきれいにボカし**、被写体の人物を引き立てる撮影ができます。**人の肌を美しく見せる**ように設定されていますので、女性を撮るには最適なモードです。



風景モード

風景の撮影に向けたモードです。近くから遠くまで、**ピントの合う範囲が広くなり**、また全体的にシャープに写ります。観光地での記念撮影など、風景と人物と一緒に撮りたいときにも最適です。



マクロモード(クローズアップ撮影)

お花や昆虫などのクローズアップ撮影に向けたモードです。**最短撮影距離が短くなり**、被写体にグッと近づいて、大きく撮影することができます。最短撮影距離が0cmという機種もあります。



スポーツモード

動きの速い被写体の撮影に向けたモードです。できるだけ**シャッター速度を上げてブレを防ぎ**、動いている被写体の一瞬を撮影できます。明るい所では有効ですが、暗い所は苦手です。



夕景モード

夕焼けや朝焼けの撮影に向けたモードです。オートモードや風景モードより「**赤**」が**強調された印象**になり、夕暮れの雰囲気を漂わせる写真が撮れます。夕暮れの撮影に使ってみてください。

P プログラムモード

オートモード同様に、絞り値とシャッター速度は自動設定ですが、オートモードでは変更できない**ISO感度**や**ストロボ発光の選択**など、その他の設定を自由に変更することができます。

S シャッター速度優先モード

撮影者がシャッター速度を決め、絞り値はカメラが自動で決定してくれます。シャッター速度を変えることで、動いている被写体を止めたり、逆に動感を出すことができます。

A 絞り優先モード

撮影者が絞り値を決め、カメラがシャッター速度を自動で決定してくれます。絞り値を変えることで被写体のバックをボカしたり、逆にバックをハッキリ写したりできます。

M マニュアルモード

撮影者が絞り値、シャッター速度を含め、全てを設定できるモードです。それなりの経験が必要ですが慣れれば意図する絵作りがしやすいモードです。打ち上げ花火の撮影などでよく使われます。

デジカメ撮影テクニック

●背景をぼかせて人物を引き立てよう

人物の撮影では、背景をぼかすことで被写体である人物を引き立てることができます。「ボケ」を出すのは撮像素子の大きな一眼レフデジカメの方が有利なのですが、**コンパクトデジカメでもチョットした工夫をすれば一眼レフデジカメに負けない「ボケ」を出すことが出来ます**。

まず、撮影モードを「ポートレートモード」に設定します。しかし、ポートレートモードにしても被写体と背景の位置関係や焦点距離によっては、「オートモード」とそれほど変わらない写真になることもあります。そこで、焦点距離はなるべく大きく(望遠側)、被写体は背景からできるだけ離し、カメラはできるだけ被写体に近づきます。

「**被写体は近くに、背景は遠くに**」が基本です。



●カメラ付携帯電話でキレイに撮るテクニック

携帯電話のデジカメでの失敗写真の多くは、「**手ぶれ**」「**レンズの汚れ**」「**画像のサイズ選択**」によるものです。

◆「**手ぶれ**」は、軽い携帯電話のシャッターボタンを押す時にぶれを起こすことが最大の原因です。最近の携帯デジカメには手ぶれ補正機能が付いていますが、なるべく**そっとシャッターボタンを押し**ましょう。また、なるべく**明るい状況で撮影**することで、シャッター速度が上がって手ぶれ防止につながります。

◆「**レンズの汚れ**」は、写真の撮影前に確認することで防げます。汚れていたら柔らかい布などで**軽く拭き**みましょう。



◆「**画像のサイズ選択**」ですが、高画素を活かすなら**最大サイズで撮影**しましょう。撮った後で小さくすることは可能ですが、逆はできません。画像がギザギザになってしまいます。また、近くの被写体(料理など)を撮影するときは必ず「**マクロモード**」を使いましょう。携帯デジカメにもマクロモードがある機種もあります。

開発室から

携帯電話の着信音、みなさんは何をお使いですか？私はいろんなメロディを自作して、電話帳の登録グループごとに設定しています。先日、お客様のところへ訪問したとき、友人から電話がかかってきました。日中に電話がかかるなんて珍しい相手なのですが、そのときに流れた着信音が「アルプスの少女ハイジ」のメロディです。思いつきお客様に笑われてしまいました。

